

# 私のおすすめ

◎このコーナーでは、子育てや障害、認知症・介護当事者の目線から、普段の暮らしに役立つ「おすすめ」なものを紹介します。

## 障害のある人にとっての防災 ～準備と情報が鍵～

「平成28年熊本地震」により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。本県では、従来から「東海地震」や「神奈川県西部地震」の切迫性が指摘され、また「首都直下地震」の発生も懸念されています。

過去の震災の経験から、私たち障害のある者は避難所で生活するにしろ、在宅にしろ、障害のない人以上に多くの困難や不安に直面すると言わざるを得ません。災害は決して他人事ではありません。そこで今回は、障害のある人の防災について、今一度考えてみます。

## ❖私たちが作った『防災マニュアル』

KILCでは、『障害者のための防災マニュアル』を障害当事者の視点で作成し、被災時にはどんな「困りごと」が起こりうるかを障害別にまとめました。

肢体不自由の人の不安は、「果たして無事に逃げることができるか」につきると思います。視覚・聴覚に障害のある人の大きな不安は、避難経路の確保、情報からの孤立です。内部障害のある人にとっては、いつも通りの治療やケアが継続できるかが重要で、避難所等で自分の疾患を正確に他人に伝えるための方法について考えておくことが大切でしょう。

また、障害のある人が自立生活をおくる上での必要な防災知識・心構えをチェックリストとしてまとめました。例えば、非常時に備えて確かめておきたいこととして、災害時にヘルパーさんが来てくれるのか派遣事業所等と事前に打合せておく、また、近隣・地域とのコミュニケーションについては、隣近所の人などに避難の手助けをしてもらえるよう前もって頼んでおくことを挙げています。

## ❖防災と「合理的配慮」

先月施行された障害者差別解消法が求める「合理的配慮」について、内閣府の「合理的配慮等具体例データ集」では、災害時の代表的な合理的配慮の例として、「筆談、要約筆記、読み上げ、手話、点字など多様

今月は

⇒ (N)神奈川県障害者自立生活支援センター  
がお伝えします!

通称KILC (キルク)。1997年4月設立。障害者の自立生活を目指してピアカウンセリング(障害者による相談事業)や各種情報提供、障害者施策の研究・提言など障害当事者の目線で共生社会の実現を目指した活動を展開。現在、厚木・平塚等4カ所の事業所で活動中。

〈連絡先〉厚木市愛甲1-7-6

☎046-247-7503 FAX 046-247-7508

URL <http://www.kilc.org>

Mail [info@kilc.org](mailto:info@kilc.org)

なコミュニケーション、分かりやすい表現を使って説明するなどの意思疎通の配慮」「障害者が立って列に並んで順番を待っている場合に、周囲の理解を得た上で、当該障害者の順番が来るまで椅子などを用意する」などを示しています。熊本県は、旅館ホテル生活衛生同業組合との協定に基づき、障害のある人や高齢者等、避難所で特別の配慮を要する人とその介助者を宿泊施設に無料で受け入れています。こうした国や自治体の動向に注目し、他県の優れた政策を地元の自治体にも求める働きかけもまた大切だと思います。

## ❖障害のある人の「防災」とは

災害が起きた時は障害のある人もない人も関係なく、全員が「被災者」となります。復興までの長い混乱の中、社会的な支援は最小限となり、普段通りの生活サポートは期待できないと覚悟しておく方がよいでしょう。そこで大切なのが、「事前の準備」です。災害発生時に実際に直面する不安や危機を想定し、適切な支援を受けやすくするための自分なりのプランや知識を準備しておくことこそ、障害のある人、いえ私たちの社会全体にとっての「防災・サバイバル」ではないでしょうか。

## インフォメーション

■障害者のための防災マニュアル CAUTION!

URL <http://www.kilc.org/caution/index.html>

■合理的配慮等具体例データ集(合理的配慮サーチ)

URL <http://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/jirei/>

■被災者への宿泊施設の提供について / 熊本県

URL [http://www.pref.kumamoto.jp/kiji\\_15486.html?type=top](http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_15486.html?type=top)